PART1　呼応の副詞（禁止・不可能）

呼応（陳述）の副詞

★「禁止」

「　　」〜**そ**＝〜するな（〜してくれるな）

→「　　形」

（例）な射そ。

※ただし、カ変・サ変のときは未然形。

（例）なこそ。＝来るな（来てくれるな）。

なせそ。＝するな（してくれるな）。

「かまへて
あなかしこ」 ～ ｛ そ ／ **な** ／ べからず ｝ ＝決して～するな

（例）あなかしこあなかしこ、人に語り給ふな。

★「不可能」

「　　」～打消＝～できない

※打消＝ず・じ・まじ・なし・で

（例）返しえし給はず。

おぼろけの紙はえ張るまじければ、…

問一　「沈みはべりてなむ、えきこえぬ」の傍線部の文法的な説明として最も適当なものを、次の中から選べ。

ア　名詞＋動詞の未然形＋完了の助動詞の終止形
イ　名詞＋動詞の連用形＋完了の助動詞の終止形
ウ　副詞＋動詞の連用形＋完了の助動詞の終止形
エ　副詞＋動詞の未然形＋打消の助動詞の連体形
オ　副詞＋動詞の連用形＋打消の助動詞の連体形

問二　下の打ち消しの語と呼応して不可能の意味を表す副詞の言葉として、最適なものを次の中から選べ。

ア　さらに　　イ　よも　　ウ　な　　エ　え

問三　「な泣きたまひそ」の口語訳として最も適当なものを、次の中から選べ。

ア　泣くかもしれない
イ　お泣きなさるな
ウ　泣くだろうな
エ　お泣きなさるだろう

問四　「花ならばしばし［　］散りそ木の下を」の空欄には、ひらがな一字が入る。最も適切な語を記せ。

問五　「え参り来まじきを」の解釈として最適なものを、次の中から選べ。

ア　お訪ねするべきではないのに
イ　お訪ねしたいわけでもないのに
ウ　お訪ねしないつもりでいるのに
エ　お訪ねすることもできないのに

第26講 PART1 確認問題

① 「もの知らぬことなのたまひ給ひそ。」の傍線部分の解釈として最も適当なものを、次の中から選べ。

ア　おっしゃるのかもしれませんね
イ　おっしゃったら良いではないですか
ウ　おっしゃるものではありません
エ　おっしゃるのでしょうね

② 「な来そ。」の文法的説明として最も適当なものを、次の中から選べ。

ア　副詞＋カ行変格活用動詞の未然形＋終助詞
イ　副詞＋カ行変格活用動詞の連用形＋終助詞
ウ　終助詞＋カ行変格活用動詞の未然形＋副詞
エ　終助詞＋カ行変格活用動詞の連用形＋副詞

③ 傍線部が呼応する語として最も適当なものを、次の中から選べ。

「あなかしこ、あなかしこ、われ人に許さるる程になりたりとも、証得（しやうとく）してわれはきそくしたる歌詠み給ふな。」

ア　とも　　イ　て　　ウ　たる　　エ　な

④　空欄A・Bに入る最も適当な語の組み合わせとして適当なものを、次の中から選べ。なお、Aは禁止、Bは不可能を表すために用いられている。

今宵は［A］行くべからず。
今宵は［B］参らず。

ア　A・そ　B・な　　イ　A・え　B・かまへて
ウ　A・な　B・そ　　エ　A・かまへて　B・え

⑤　「人のそしりをもえはばからせたまはず。」の傍線部の解釈として最も適当なものを、次の中から選べ。

ア　決してお慎みになられることのなきよう
イ　お慎みになられることはやめてください
ウ　お慎みになられることもできず
エ　どうしてお慎みになられる必要などありましょう

第26講 PART1 解答

問一　エ
問二　エ
問三　イ
問四　な
問五　エ

第26講　PART1　確認問題　解答

〔解説〕

① 「な～動詞（連用形）そ」の形で「～してくれるな」という「禁止」の意味となる。よって、ウが正解。

② 呼応の副詞を用いた「な～そ」の「な」と「そ」の間には、基本的には動詞の連用形が入るが、カ変・サ変動詞の場合、その活用形は「未然形」となるので注意する。したがって「な来そ」は「なこそ」と読む。よって、アが正解。

③ 「あなかしこ～。そ／な／べからず」で「決して～するな」という「禁止」の意味となる。よって、エが正解。

④ A・「禁止」の意味になる副詞のうち、「かまへて」は呼応する語が「そ／な／べからず」となり、「かまへて～べからず」で、「決して～するな」という意味になる。B・「え～打消」の形で「～できない」という「不可能」の意味となる。よって、エが正解。

⑤ 「え～ず」の形なので「不可能」を表すため、それに準じた訳を選ぶ。文中の「せ＋たまふ」は動作主が天皇の場合など、書き手から動作主に対する特に高い敬意を表現する「二重敬語」であることも、覚えておくと良い。よって、ウが正解。

〔解答〕

① ウ　② ア　③ エ　④ エ　⑤ ウ